

建築・土木の進捗 出来高管理サービス BIMへの移行/i-Construction

建築・土木の細部までも永久に保存でき、誰もが管理の出来るデータ化を行います。

土木建築のデータ管理に

建築土木産業は、全産業のなかでも市場規模は52兆円と国内2位の大きな市場です。しかし、昨今の新しいテクノロジーの導入は他産業と比較すると、大変著しく低いものと考えられます。しかも生産性はマイナスもしくは限りなく0%成長の成熟産業であります。

そこで、国交省は生産性の改善とICT化を進めるi-Constructionという取組を始めました。

また、建築業界も建物とそれに関わる多様な情報を「3Dモデル」に集約・統合することで、建物のデータベースとして設計から施工・維持管理等に活用する仕組みとして『BIM』Building Information Moderingの取り組みを始めています。



BIM/i- Constructionの推進

i-Construction においては、3次元データを活用することで、調査から始まり測量・設計・施工・検査・維持管理に至る全てのプロジェクトを効率化することで、生産性の向上に繋がります。またUAV（産業用ドローン）の使用により、広範囲な領域にまでICT化を勧めることができます。

BIMにおいても、3次元モデルを中心にすえて、計画における流体のシミュレーションやCG・VRなどの情報開示ができます。周辺の地形データや納まりなどの干渉チェックなど、関係者の誰にとっても理解のしやすいシステムをつくることで『見える化』するコミュニケーションツールができます。



建築工事の出来高/進捗管理



土木工事の出来高/進捗管理